天皇陛下陸軍士官

行

四十六號)も拿捕、三隻とも故障をおこし漂流中の第一海関丸をも領海侵入として拿捕し更に北上の途中濱吉丸(第

驅逐體を特派した上に多數の備のため特に浦鹽より二隻の

本漁船の監視に當らせつ

撃を與へんとの魂膽たること 日本の北海漁※權に徹底的打

も容赦せず領海侵犯の嫌疑を 霧期間の故障等の不可抗力を

國記者を追放

刑法の條項は適用せず

一雄氏(正金大連 支店)同様同

端を物語るも

聯盟總會を騷が

関丸をも領海侵入として拿抽 に於ても同様優勝中嶋陽に 岸に於ても同様優勝中嶋陽に 原立とも同様優勝中嶋陽に をおこし漂流中の第一海

拿捕船

0

放方を嚴談

せしむ

然認めざる爲我方としては支 のとりたる越軌行爲の非を全 のとりたる越軌行爲の非を全

▼ 雅側の不法事實をより一層明 上 は二日出帆の大連丸で急遽事 は二日出帆の大連丸で急遽事

徹底的糺明がなされる筈 陽側の責任回避の態度につき

記官靑島

大井はいつた。

に曳航せら

害

#### Ξ 月也 發行所

## を要求す

チチハ ル條約の効力が問題化す

八田大使

コフ氏と痛烈な論戰を闘はした。大田大使はストモニアに沿ひガイ河の黒龍江に合流する地酷に至る國境制定に回過塔爾達呼よりアバガイトに至る國境及びアルグン河國境塔爾達呼よりアバガイトに至る國境及びアルグン河

量拿捕は

ルピンに向つた、張侍從武官三日午前九時十分發列車でハニ日午前九時十分發列車でハ

聯政府に嚴談 れてゐたが、二日左の如く決一向代表入選は豫て日本船主協 【神戸國通】第廿一及び第廿 回國際勞働會議總會使用者 使用者側

三井物產船舶部海務係

寅三郎

「南京二日發國通」獨支一億 外交部に鎮相間ひ合せ中であったが、二日亜州司長高宗武 でしたが、二日亜州司長高宗武 せるも未だ實行し居らず恝る間には約一年前バータ

製立タ

等關係ないと云つてゐる

糺明

下陽藩同夜出帆の陽釜連絡船下陽藩同夜出帆の陽釜連絡船中日本各地を観察した郡土殿中日本各地を観察した郡土殿中 國際勞働會議

第〇〇園へ 支借欵

市民の 山中 清脳

(本) 日日 (大) において名譽の職死を遂げた においてる (本) においてる (

健

行 変調五計銭 五計銭

酒

に向ひ締路は富錦。ハルビンより飛行機で虎林

小野

杷由十四日歸京の笠に向ひ騎路は富錦。

節京の筈であ

**形中將一行** 

二日夜下關發

二戰死者原籍地

第一回分は麻布區、品川區、 中野區の三區分二萬三千個で

乳 百十五) 鍵 あ

海上映)

P

之

事大事

3

彼の為に起つ〇二 きいて驚いたことが幾度もあ私達も艦房の中で被告の話を 久 0助

族同士の公判にはさうしたこ 『成る程、言語の通じない民

堂一

T

產

野院

I

電公の話五五一一

電電

位

兵器借欵で

75

は

南京亞洲司長が否認し

約内容は支那より原料品を は該品目中に含まれてゐな なことになつてゐるが兵器 なことになつてゐるが兵器

機ごなつて、あなたがさうし選に陥った弟さんが直接の動には再び血が上つた境が

あ

急

話

金

**荻山** 荻山 藤地 声

3

賃

電大二六七番

話

店

110>日本

三共商事

印刷部

震語(2)二八五八番

年齢十七才以上二十才位の身体强健 にして實直の方 にして實直の方

申 扇芳亭グリ は給近 込 數名採用

新京七馬路永康莊一〇三號

急

教京駅

本条町ダイヤビル二號 連備に多忙につき角力道に充分經験を有する方二名急募 本る七日十日より晴天三日間素人角力大會實施の2の話

新京素人角力俱樂部

**| 貴數名募集希望者本人來談要保證** 十歳前後の眞面日なる日本人男子 與安大路永安街電話2一九八八

明 販製 賣 部

近日完成

n Ξ

電新話京 六町〇二

ないかとみ 

内では早くも山崎理事の再任 がでは早くも山崎理事の再任 がは早くも山崎理事の再任

事實があり且つ總裁との關係を懇望せる顧書が提出されたを懇望せる顧書が提出された る電役として社員の信任厚くについては社員出身の傑出せ

場合ベルギーは八月一日よりで、事になつて居り、更に米國品にも禁止的關稅引上に米國品にも禁止的關稅引上に米國品にも禁止的關稅引上

高取極めの廢棄を通告せられ ・ 高取極めの廢棄を通告せられ ・ 立つてベルギーよりも自豪通

任期満了の

滿鐵三理事

後任下馬評

立つてベルギーよりも白豪通の對賽通商擁護法の發動に先の對賽通商擁護法の發動に先

今や四面楚歌の狀態に陷る 待遇を停止する事となつた。 より豪洲産品に對する最惠國 のに對し、一九三四年の相互

郎氏(南瀬ガス會社)

製えかあるのでは 製みかれてゐる、残る は りか最も有力であ で は りないなとすれ は りないとすれ

は川島陸務課長帶同滿洲視察門司税關支部長沼田龍太郎氏 門司稅關支部長 ▲張滿州國侍從武官 三日午 前九時十分へルビソへ 「前率天へ」 前本民前由銀理事 同七時内 地へ 田中盛枝氏(滿鏡)三日午 前率天へ (滿洲國官吏)同 本テル (會社員) 同

皇帝陛下御差遣の張侍從武官

虎林方面巡閱

張侍從武

所に假收容されたイタリー人の腹でサンアントアンヌ刑務

日本船釋放を嚴談せし

オタマロ氏は一日午後スイスルン駐剳イタリーダー

閣議の結果國際關係を考慮、 追放するに決定、一日夜檢事に 追放するに決定、一日夜檢事に もた。

定である

奉主奉

で來京するが新京の日程は未のため四日午後九時着ひかり

【ジュネーヴ一日發國通】ベ

白も對抗に决定

法關稅に

虎・氏(同)同吉林氏(商業)同一、(大連汽船)同大氏(同)同大氏(同)同 民(大連曹達會社

競

五四日(土) 秋季第一大 五萬大搖彩 されない 齊は、

本石村長七氏(奉天傳道事務 本石村長七氏(奉天傳道事務 所長)同率天へ 本田騏一郎氏(總局監察) 同 本一理糾氏(哈市學院長)同 東京へ 午前十時開場 馬

▲ ジャック・テイボー氏(ヴァイオリニスト)。同 ▲ 年金額行氏(満洲農業團體 中央會長)同大連へ 中央會長)同大連へ 中央會長)同大連へ 中央會長)同大連へ ・もごの冷鬱さにかへ

日 国流離を以て自らほこつ てゐるやうな彼であった彼は極度の音楽事から彼は極度の高な聴が生じて来たのであ な仕事はできないのですからのやうな一學究では到底そん

では今しばらく自分の有異を は今しばらく自分の有異を は今しばらく自分の有異を は今しばらく自分の有異を ないご思ひます、ですからな になる機管で私は將来のために増 なたは御兄妹が 大井はきいた。 『それで、暫く自重してさい

4

4

自然です、では將來、ごうした氣持になられることは甚だ てそれをおやりになるつもり 行流 東京娘

新發屯

**数名募** て優遇す 1 (2) P 七

るの治安・守備殿によつて全 会の治安・守備殿によつて全 の共同浴場を使用出來ること の共同浴場を使用出來ること

型牛、六疊または三 1年料で貸與する 一には次の物品を

5 1 チ付 三棟 三型 | 1 チ付 三棟 三型 | 1 チ 付 三棟 三型 | 1 チ 付 三棟 三種 | 1 チ 付 三棟 三棟 | 1 チ 付 三枚 | 1 チ 付

を進めてゐるが同慰靈祭に對係で獲滿以來戰發した勇士の於て獲滿以來戰發した勇士の於を執行することへなり準備

四 ことゝなつてゐる は地方事務所社會係まで申込 とは地方事務所社會係まで申込

進境を見せてゐる

本社の後援で

五日公主嶺へ

イボウー

▲第二部 一満銭の歌、二満 別をと 歌行進曲 歌行進曲 歌行進曲、二 本第二部 一満銭の歌、二満

君が代、三満州國々歌 ・ 二間東軍々歌、二 ・ 四雨降りお月さん、五北大 ・ 四雨降りお月さん、五北大 ・ 四雨降りお月さん、五北大

(B

榮轉廿日頃出發赴任の豫定で 佐の後を襲づて参謀長となりは一日附展鎮守府加古艦長に 佐は昭和九年九月一日藤森大満海軍部參謀長大島乾四郎氏 任することになつた、大島大満海軍總構一部改革實施による あるが後任には海軍大學教官

加藤哲之助氏で曲目は左の如京する豫定である、指揮者は 原にて演奏十一時の列車で歸

一十日頃出發

大島大佐

本、常日は正午新京驪愛列車 四公園で催された。陽東軍軍 欧愛表の夕。に演奏各方面の 総護を博してゐるが五日には 公主備地方事務所主催本社後 会主備地方事務所主催本社後

夫の愛を試すため

萬引を働く

後任鈴

木桑謀長十五日着任

麻薬中毒者の救濟は

見込みない

いものは内地へ送還

公容治療

けふの協議會で決定

パウスの準備なる

四安も懸念なし

運賃も割引

の夏は連山關

村子一、タワシの内容は布製バケの内容は布製バケ

本日死刑執行

表

相澤三郎元中佐

よ四日から開始される事とな ス」―夏の家の貸與がいよい ス」―夏の家の貸與がいよい

新京警備

満鐵ブラ

ス

ッド

皇軍慰問演

十二日慰靈祭

ゼユーローではその貸付規則 並びに往復運賃の割引率を次

一日一組

牧 十銭 準備 料貸付もなす 本債品以外に左

国り 一様一日に付(日届り) 一様一日に付(日届り)

| 「「東京関通至急報」永田中將殺害事件の被告元陸軍步兵中佐相澤三郎は、去る六月 「東京関通至急報」永田中將殺害事件の被告元陸軍步兵中佐相澤三郎は、去る六月 「東京関通至急報」永田中將殺害事件の被告元陸軍步兵中佐相澤三郎は、去る六月

行せられたり 確定を見たる元歩兵中佐 相澤三郎は本三日 そ

の刑を執

ハウス」使

## 炭疽病新京を襲ふ 乗用馬車馬に豫防注射實施 一頭斃死

# **兩馬廠、市公署、首都警察必死の防疫**

馬車馬を東廣場(東五條通り)に集め豫防注射を實施してゐる。染を虞れ早速三日午前十一時から首都警察署と協力して首都乘用馬車組合の因は家畜に最も恐ろしい炭疽病と確診され、市公署衛生科では他の牛馬に傳死し更にあと一頭も容態が怪しいので隔離してゐる。病馬廠で檢視の結果死寛城子に居住するロシア人某が飼育せる四頭の牛のうち二頭まで一日午後斃

日四月七年一十期期

轉は各方面から惜まれてゐる 大上洋 大上洋 東田、濱田二代の司令官に仕 青陽ビルの惣菜の店みづやで はの和を聞り新興滿洲國に對 アイスグリーム、みつまめ、 新京日本橋は夏季二ヶ月間惣英部を休業 思ひ切 水金時、氷西瓜、氷しるこ等 服部ではか 水金時、氷西瓜、氷しるこ等 服部ではか 水金時、氷西瓜、氷しるこ等 服部ではか 大上洋

づやの氷物

ット其他格安ものが山積され 市内三笠町三丁目一五ノ二の 活體次象部では新古衣裳夏物 一掃均一大賣出し中であるが 一番の一大賣出し中であるが

七日公會堂州上會議会七日公會堂州上會議会 大上洋行洋服部

氷金時、氷西瓜、氷しるこ等服部ではかせてより百圓以下に夏季二ヶ月間惣英部を休業思ひ切つた値下情勝ビルの惣菜の店みづやで思ひ切つた値下

市内日本橋通りの金 東洋行では目下大連 東浦硝子會社製のカ ットグラス類の陳列 旅館として 改裝成

の設立認可 の設立認可!接したので來る 同に申請中 はかねて當 新京醫

**松つて六時から八** ・ 合議室で發會

天野產婆

京都旅 館 市内永樂町 三丁目京都 三丁目京都 一三丁目京都 一三丁目京都 一三丁目京都 コールール ちぬやう 減俸が行ほれた際

器

別立開業した

てが満洲園在住の騰民族と同 断行され、在滿日本人のすべ るが、治外法權の一部撤廢が 乎として改新し、高級三ッ會に於いて從前のやり方を ることなくやつて來たのでも一切それ以下に値下げを

婦院落成まで取敢ず吉野町一

四十八圓のものから提供す ◆ 競馬午前十時より ◆ 野球、明大動新京、午後四時十分、西公園球場 時十分、西公園球場 ▲共同法院地鎮祭、午後一時 安民廣場 安民廣場 ・安民廣場 ・安民廣場 ・安民廣場 ・安民廣場 ・安民廣場 ▲土星會洋畵展第一日、公會

た共同法院は總經費七十五萬 奥を以つて愈よ高岡組工事の もとに安民廣場に建築するこ とゝなつたが之が地鏡祭は四 日午後一時半より脇大に攀行 される、なほ同建物は康徳五 年七月三十日迄に竣工の豫定 である 本七・00 物語・湖上の美人」 「東京)―梁川帝澄公園より中 を「東京)―梁川帝澄公園より中 を「中路山色常磐津岩太夫外▲ハ ・一〇 漫談風景僕はオリンム ビック選手(大阪) 

大人工園、子供婦 大人工園、子供婦 一十銭) 一十銭)

電話ニー

富士町四ノ二人呼出(3)―三〇七九

ş

宅齡往齡酬澈

電話開通 (2)

**淡** 宅齡、柱齡、隨時 派出婦にも應じます 三〇八六番

間此段御通知に代へ一時三十分遂に死去仕一十分遂に死去仕

// 第王宝の題の応撃に界世声の観地 均封日近 產

自供し、偏くる事故見刑事室自供し、偏くる事故見刑事室 の他へ賣却したことを

オリンに於ては世界一と稱す一二日午後七時半から新京記念で開催されたがヴァイ の雅致高貴、洒脱等天來の神の透明さ、柔味 纖細性、情緒 るだけに提琴曲が要求す 奉天へ向ふ ・テイボウの獨奏會はヴァイオリンの互匠ジ

観相と易斷 

西村洋行の

推薦品を

冷て 飲むお

酒

生

酒

ルに勝る風味

答品

は

全市配達致します 創業明治四十年

南北 八勝延期 都市對抗に出場すべき南北滿 地球では來る五日から

急ぎ來れよ!! 日本ク

技は聴衆をたゞ恍惚たらしめ を曲の終るごとに破れるやう 高島易断所電3 101四番 奉天に向つた
一行は三日午前九時發列車で 

同

·難銘酒

冠軍鹿宗鹿梅鹿

進白菊黑

同

松

白

●高級酒 ● 冷用酒

竹

松白

中

元

サ

を出ります。 本七時二十五分 金七時二十五分 金七時二十五分

●御一報文第贈答係会上致します

ダイヤ街

●滋强酒

蜂ブドー

酒プ

カ

ルピ ロツ

ス

第三回釣魚大會

置五十二

百八千四年

新京牒、ツュリスト・ピユー

球戰(四日)

京軍對明大 日の野

中前十時から新京署自議 者三十名あり、之等患者の治 見者申直もに救済、豫防對策協議會は 患者申直もに救済を要する患 携教濟、豫防對策協議會は 患者中直もに救済を要する患 接教濟、豫防對策協議會議 者三十名あり、之等患者の治 見歌音主事を始め各福祉 事、陽せる (6二十餘名)

提減を期するより外なせと意 見一致し、とり致へず現在福 見一致し、とり致へず現在福 たし、到底見込みない電温者 は华强制的に内地へ発達する ことゝし同四十分開會した。

ことになれば死亡して仕舞ぶれは若し全然麻薬剤を賣らぬ

共同法

院地鎮祭

分が泥練呼ばはり いたのであつた いたのであった

新京における各法院を綜合し

午後四時十分(西公園球場)

十六一分分

創業明治四十年新京唯一 昌質本位 潍の生工

酒のだり

竹

京都の

氏が鋭意脚色中であつたがこ 場模の家」と決定村上徳三郎 別様の家」と決定村上徳三郎

を行ふが、高田の圓熱せる演 を行ふが、高田の圓熱せる演 を行ふが、高田の圓熱せる演

女執 友丁士宿 引亥曜

日四月七日六十月五日

秘境熱河

「掏模の家」供

ぬ的存在を記している。 対した。 対した。 は反対であるといるのである。 は反対であるといるのである。 はであるといるのである。 はであるといるのである。 はであるといるのである。 はでする。 はでするでもでもできる。 はでするがでもできる。 はでするができる。 はでするができる。 はできるできたが、 はでもあるが、 はでもあるが、 はであるといるのであるが、 はであるといるのであるが、 はでもあるが、 はであるが、 はである。 がのとするといるであるが、 はである。 がのたか。 はである。 がのためこの種本ない。 はなまってといるである。 はなまってものである。 はなまってものである。 はなまいし、 はなまってものため。 はなまってものである。 はなまってである。 はなまってである。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はなる。 はなる。 はなる。 はな。 はな。 はな。 はな。 はな。 はなる。 はな。

人院手術隨時

病

田島

與安大路四一九 (藤田ビル裏)

煉特五坎

製寸

用

四寸火鉢用

菊五郎

近く配役決定を俟つて本讀み中原盛意監督、撮影は森井靜中原盛意監督、撮影は森井靜

賣信

店を

七月封切庫 「踊る明君」トーキ・井上 のお盆映 温と指定された を太郷監督作品で、下加佐 の特別主演に腱線北見禮子 のが以本能ある、林長二郎を がの高田浩吉、小笠原章二 を加つて豪華キャストを形 も加つて豪華キャストを形 も加つて豪華キャストを形 も加って豪華キャストを形 は、北大を の選れない、 を がの高田浩吉、小笠原章二 を がの、 が、 である、林長二郎を である、 が長二郎を である。 が長二郎を である。 本である。 本でな。 本である。 本でる。 、 本でる。 本で

及春座名高大會 「白き處女地」「朧夜の女」「老 讀 大統引き(但大人一人一枚限り) 大統引き(但大人一人一枚限り) 者

引 券 讀 者 優待

引券

十銭引き(但大人一人一枚限り)本券持多者に限り階上階下共に一 新京日日新聞

長春座名畫大會 「白き魔女地」「嗣夜の女」「老 1437

何本御利用をして 一月賦販賣の便あり

鬼殿 兄弟 商會 電話(3)二四八二番

振曳者のけ塚寺は小次助

●五賞の人 苦夢心配は重れども割合に金運は備はる日甲と乙と癸が吉甲と乙と癸が吉田と丁と成が吉也未の人 計量は立てたれど他より抑壓せらるム如し乙と丙と申が吉乙と氏と中が吉力を成が吉田と丁と成が吉田と丁と成が吉田と丁と成が吉田と丁と成が吉田と丁と成が吉田と丁と成が吉田と丁と成が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と交が吉田と丁と東に

●一白の人 佳運に心緩めば後悔するも及ばず響勵に吉 長と辛と寅が吉 一二黑の人 身心共に落付き の無き日常事に安んずべし 乙と成と癸が吉 乙と成と癸が吉 一型額の人 我意を捨てゝ和 順たるべし共同事業に吉し 丙と辛と壬が吉 四級の人 頑固一徹も時に 佐る融通を利かすも處世法 已と申と壬が吉 疊 の御用は

新京東一條通り五一番地 電話。六四七四番









日本橘通四 電話③四一六九番 靜 電路(2)二六0七番 EXX•XXX•XXX•XXX•XXX

十七八歲迄本人來談

少女サービス係急募 電話3二五〇六番

古野町四丁目(賓宴樓前)

新京最初の試み、六月 カフエー 

開場はたり

並商株金米式

大日電線

ス・アカデミー

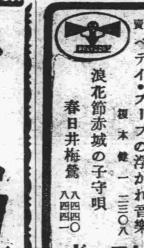
ホール階下(反對側入口ョリ)

若き日の胸 白記《 曲 数年マ

置 立本 金金







プの浮かれ音 11110七 YOUIL! HOIIII

廿五 電念



一億四全額挑込済 一億四全額挑込済 三なった。







長春 電(3)六二四一番 院 は一大飛躍をとげ後來都市計 をといふ手綾をとつてゐたのであるが、しかし都市に必要であるが、しかし都市計畫は 、、、市制施行の都市でなけ であるが、しかし都市計畫は 、、、市制施行の都市に必要ではなく しての形態を與ふべきことが ときも、都市計畫法の適用に ときものであるとの建前

は 緊急の必要に迫られて、関都 建設のための、関都建設計畫 な 建設のための、関都建設計畫 で 法が、最初の都市計畫的內容 に 實施されたが、これをその儘 に 實施されたが、これをその儘 と 支障があるので、更めて今回 が 一般的の都邑計畫法を制定公 布し、而もこれが適用につい

本質級塊 四八個什八人 (七月三日前場) 一九片一分分五 四四仙四分三

(8

公布された都邑計畫法(二)

つた經路が想起される。

用を見る事となつたのである これを適用し、その上内務大 臣の指定する町村にも法の適

京取引所市況

所

高

落札 一千入百二十國 本電氣設備新設工事 ふ電氣設備新設工事 場 路 局

一〇二人 ★ 第一回 質

第三回賣 第二回曹 第一回賣

7

【東京國通】 藻洲羊毛に對する離入許可制適用を契機として職維原料問題が喧ましく論 離せられて居るが商工省では 二日午前商相官邸に羊毛業者を招いで前日に引續き羊毛對 を招いで前日に引續き羊毛對す た即ち當菜者の意向としては

羊毛代用品獎勵の

□ 10.00 川代鐵工所 東權 協會鐵工所 東權 協會鐵工所 海灣鐵工所 市澤鐵工所

四百二十圓水上

決定工事

スタークの運

第二回賈賈賈

第三回寶

土建ニュー

ス

順當り三百圓と概算されて、東記号

國民運動起す

常局及羊毛業者の意見一致

本新京伊通河線第四災害復憲 本新京伊通河線第四災害復憲 本新京伊通河線第四災害復憲 第1回11年20100 森 本 和 111年20100 京城阿川和 111年20100 京城阿川和 111年2010 京城阿 111年2010 京城阿 111年2010 京城阿 111年20 京城阿 111年20 京城阿 111年20 京城阿 111年20 京城阿 111年20 京城阿

滿洲國

の手で

【大阪関通】燃料國策に重點 を置く石灰液化工業は松岡滿 整雷り五萬噸の工場建中の朝鮮室 を高々工業化に專念しつ」 多るが、豫で計畫中の朝鮮室 を雷り五萬噸の工場建設で後 設は興南と決定、減鐵同次 選出する核線で從つて 石炭四噸よりガソリン一噸を 注出するものでその建設費を 注出するものでその建設費を 注出するものでその建設費を

▲奉天中學校水泳ブール新設工事

各地特產市況

但 寒 物●高安高引 大連 8

爲替

▲上

買 101、1

豫告工事

大豆の規格統

四日大連て委員會開催

テ

ーブルフア

1

東洋絹

織設立

洋棉

### 米國國營事業と 大豆工業を振興

落札 四千九百五十圓 川\*4;0\*0 滿洲 電機 所變房工專 高。10川\*;4 岩井 電氣

本\*#00°00 注商會 ★#00°00 於澤 商會 本\*#00°00 於澤 商會 在\*#00°00 於澤 商會 在\*#00°00 於澤 商會

(共三) (共三)

ス大學に試験所

計 和1.1次 四1.40元 一、スティーブル・ファイベー は 対 は 対 が は で が 出 来 の は 所 と い ふこと が 出 来 る の 動 向 は 大 體 決 定 さ れ た も の 動 向 は 大 體 決 定 さ れ た も の 動 向 は 大 體 決 定 さ れ た も の か か ら と い ふこと が 出 来 る 緬羊改良場

國立て赤峰に

東洋レイヨンで愛國心に訴へるといふ様なの関氏的運動を起し其の使用し 

朝鮮窒素

でも

石炭液化着手

ー工場は興南に建設す

◆大連検車區客車検査所アッシュ取片付工事 シュ取片付工事 ・大連検車區客車検査所アッ

先當 展 大阪棉花 整 限 公立公 是 限 公立公 会 表 是 是 一

三日

金銀市

銀青▲土九七 ペオプ 本 月月月月 本ントロ 筋筋力限限限市ゴムト印 ル

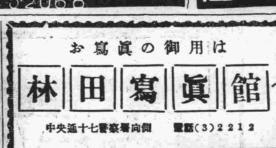
n

1兴。17 (短期) 











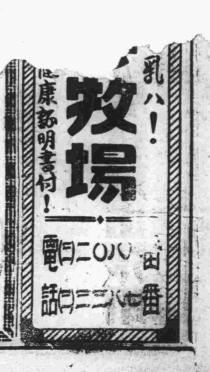












内閣の施政方針に関しては な養行して、その説明をしまる事と思ふから其 を養行して、その説明をした後研究して各自意見を吐 た後研究して各自意見を吐 た後研究して各自意見を吐 を関する成案を得て着える。 なる事と思ふから其 の説明をし

東京國通」內務省では二日 第三国豫算省議を閉き三日の 策に就き深更まで協議を續行 した結果左の三政策を提出すべき重要政 した結果左の三政策を提出す 一、地方財政調整交附金制度 の恒久化(十二年度豫算六 千萬園) 一千萬園)明年度一億

航容工業助長統 航空機乘員養成費

代艦建造に着手

及びマーセー>
開き船所に於て
な一隻各々六百萬磅でタイン
は一隻各々六百萬磅でタイン
な一隻各々六百萬磅でタイン
な

七九〇

相から

で大きない。 では之を改革實行するに於しては之を改革實行して行き 度い、本日は重要國策を審 との挨拶あり次で類母木遞相 との挨拶あり次で類母木遞相 との挨拶あり次で類母木遞相 との挨拶あり次で類母木遞相 との挨拶あり次で類母木透相 との挨拶あり次で類母木透相 との挨拶あり次で類母木透相 との挨拶あり次で類母木透相

項 議が重ねられる事となった
題毎に國策に關する本格的論
を待ち十日の閣議がの出摘ぶの
と特ち十日の閣議がの出摘ぶの
と特ち十日の閣議がの出摘ぶの
と特ち十日の閣議がの出摘ぶの

二政策

各省の提

案政策

遞信省の

航空國策

**央國主力艦代艦** 

要國策確立

閣

議

電力統制案を続り果然緊張

氏は二日雲南省主席吳忠信氏
十一の各師も之れに呼經一齊
一一、六十、九十九、鎭遠の四

たったり に四省境は愈よ緊張の度を加 のつゝあり

狀棒呈終る

#### 我が對支三原則は 些かの變動もなら 職園は登想出来ない 一般的着手なりや 各 先づ華北より着手してし かる後その他の方面に及ぼ す方針である、これまた交 手方針である、これまた交 で がありである。これまた交 は可能なりや と 三原則は撤回したのでな いから當然今迄辿りである は可能なりや と 1 可能なりを と 1 可能なりを と 1 可能なりを と 2 原則は撤回したのでな は 1 可能なりである。 " 归 川越大使、支那記者に語 【夏二十刊夕朝報本】

## 西南問題には不

問 答

答問っれた 

でルーマニア代表チ、ユレス 関の低劣なる議事妨害に對し 関の低劣なる議事妨害に對し

商國憤慨す

人心攻撃

コ外相は敢然席を蹴つて立ち ですンゼーランド議長に對し 正義の名に於てこの野餐行為 で彈壓せよと絶叫したが、右 で弾壓せよと絶叫したが、右 で弾壓せよと絶叫したが、右 で弾壓せよと絶叫したが、右 で弾壓せよと絶叫したが、右 で弾壓でより、 で弾壓がより、 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でいる。 でい 

原則を無視した大國代表の行努め事なきを得たが、聯盟のレスコ外相はしきりに鎮撫に

**擇を前に聯盟政局は今や蜂 爆發點に達し練會の決議案** 

る小國の不

るものは

奉天の電話線の改築に約百英

獨支通商密約が東亜政治 を吐露した日本の内容が大量なる を吐露した日本の内容が大量なる を吐露したの内容が大量なる を吐露したの内容が大量なる を吐露したの内容が大量なる をいるる事情に鑑みだれッ がの所はよる事情に鑑みだれッ がのののであると を動すら公然と行 でなる事情に鑑みだれッ を動すら公然と行 を破出 を破出 を破出 を動するものである を破出 を動すら公然と を破出 を破出 を破出 を破出 を破出 を破出 をした。 をした ッ政府の反省 微妙複雑化せ を中心に日米経済闘係の漸次商品に對する輸入割富額制限 日米經濟調整の為

使節團派遣か

リデエ

3

に努める旨の一般政情 目その他に

等他意なきに

と當つては篤と東亜 に旨を説明し之が實 の獨支協定は通商を養政策の不變更 知 常該諸國に對し嚴正なる意思 東亞の安定擁護者の責任より 東亞の安定擁護者の責任より 東亞の安定擁護者の責任より 東亞の安定擁護者の責任より

當局は日獨に

、米國政府はその特殊的政治構成の爲め中央政権の調整打開の爲めには從來の如き直接責任者と交渉すべきである。 を注目領軍する必要があると目米兩國中央政権の調整工程、後つて日米經濟關係の調合には從來の如常業者代表を米國に派し以ば率ろ我財界高等者代表を光國に派し以前、大國政府の折衝に委ねるよりは率ろ我財界。 を注目領軍する必要がある。 を注目領軍する必要がある。 を注目領軍する必要がある。 を注目領軍する必要がある。 を注目領軍する必要がある。 を注目領軍する必要がある。 を注目領軍する必要がある。 を注目領軍する必要がある。 はである。 を注目領域である。 を注目領域では後來の如 の関税委員會委員の がある。 を注目の問税を表現を必要がある。 を注目の問税を表現を必要がある。 を注目の関税を必要がある。 の関税を表現を必要がある。 を注目の関税を必要がある。 を注目の関税を必要がある。 の関税を表現を必要がある。 を注目の関税を必要がある。 を注目の関税を必要がある。 を注目の関税を必要がある。 を注目の関税を必要がある。 を注目の関係を必要がある。 を注目の関係を必要がある。 を注目の関係を必要がある。 を注目の関係を必要がある。 を注目の関係の関係の調解を必要がある。 を注目の関係を必要がある。 を述しては、 を述しては、 を述しては、 を述しては、 を述しては、 を述している。 を述しな。 を述している。 を述して、

協議するところあつた、右協機會に種々具體的方策に就き機會に種々具體的方策に就き 議の結果 各將謙吉、藤原

鄉藏之助

**反省を促す** 

井上洋服店

马服

10

獨支武器密約に關

隻建造を發表 米國こ建艦競争開始さる

#### 支間 大田大使 日本兵の でも效力疑 に元來ソオ 様約は満細 あつてかい あつてかい あつてかい

生》

廣西省境に迫る

濠洲に大きな不安を奥

^

 $\nu$ ッ

ŀ

置

は

日本の對濠報復的措置は 主、小麥、麥粉に對する職 其他五割の附加稅及び日本 民間の自發的不買をも併せ て考へる時は日本側の措置 に事實上濠洲品輸入の全面 は事實上濠洲品輸入の全面 は事實上高號出口本 は事實上高號出口本 は事實上。

に反し藻洲側の採りたる指 に反し藻洲側の採りたる指 能ならしめたる日本織物制 能ならしめたる日本織物制 能ならしめたる日本織物制 能ならしめたる日本織物制 然し此際この濠洲政府の採 の説明をしない

ソ聯

の日本漁船拿捕事件

方面でも 原氏は事 あるが

関係業者に非常な衝動を異へ 、第一海國丸、濱善丸四隻 が拿捕された事件は北洋漁業 が拿捕された事件は北洋漁業 も當局と連絡をとりつ で北千島漁業會証長加 中島へ急行、水産組合 日本東

電々會社では七月一日から八月末日まで民間株五十五萬株 「日本日まで民間株五十五萬株 「日本日まで民間株五十五萬株 「日本日まで民間株五十五萬株 「日本日まで民間株五十五萬株 「日本日まで民間株五十五萬株

電局 對策協議 寄々對策を協議中である は一般に期待されてゐる 神長しつゝある今日その成果。 神長しつゝある今日その成果。 新京線安藤前停留所 院長医博 吉田西万雄 門の世・九二 では、1000でである。 では、1000で

て「良兵良民は即ち富國强兵では六月中濱江地區各縣に於 牧めたのに鑑み更に今回七 縣長を動員して軍事講話生む」をスローガンとし 綏寧地區 二萬五千に達する好成績 傳班を派遣 事思想の普及を圖り 更に映畵宣傳班を派 各縣に軍事宣

釋放を要求

と交渉するものとみられてる と交渉するものとみられてる は平和的使命以外何物をも有 かに釋放すべきであるとの當 かに釋放すべきであるとの當

米使節團の首席は現在のとこの構成に就て外務省との間にが動することゝなつたが、訪が動することゝなったが、訪 然して今年度新規事業計畫に業經費に充富する筈である、 ろ門野重九郎氏が有力視され 局の二重放送設備約百二十 日鮮滿連絡有線電話工事 北脳各地の電線改架な 奉天間の無装米、鳳凰城間に 事を進めて居 画映弗萬 に共實名の當本がれ此

連、奉天、新京、架ケーブル工事約

哈爾濱各

ブル工事約百萬圓、

協定

間のもの

ス次長に

作トッテイナ

!!陣殺笑の意得

劇代現作特留の夏初所影撮泉大マネキ興新

5 で色然天總

子信見伏と晃平松ビンコ名のドーコレ

ハ日まで

明日の日曜 どうぞ

八下階料場入

新京警察署管内に於て本年度 ・ 大十五條に依る退去屆、在留 ・ 大十五條に依る退去屆、在留 ・ 地變更屆を差出さざる爲め令 ・ 大十五條に依る退去屆、在留 ・ で、歌呼 ・ で、歌呼

Like

との観察が行はれてゐる、を華直に受け入れるであらを華直に受け入れるであらしては、これを大局より見しては、これを大局より見しては、これを大局より見しては、これを大局より見いかかる恩惠的待遇の撤廢に

第一、成吉思汗は非常に親孝 行であつた、笑也凛該の亡さ に孝行であつたことは有名な 話であるが、苦心慘憺塔塔見

日間では、調査の結果同様の関連にては去る五月十九日間の関連にては去る五月十九日間の関連にでは去る五月十九日では今後とも聴取者の取消をすることには今後とも聴取者の取締りをは今後とも聴取者の取締りをは今後とも聴取者の取締りをは今後とも聴取者の取締りをは今後とも聴取者の取締りをはついた。よつて大阪遅信局では今後とも聴取者の取締りを

最盛期に入る

יינ

三日後場)

相

(短期

「京城支局」 盛夏の訪れと共に態よビール需要の最盛期にたビール總石量は五萬八千石で、六月の六千三百二十七石で、六月の六千三百二十七石で、六月の六千三百二十七石

館日二蒴東錢豆五

昭和

點呼

令

狀交附不能

(日)

酸すること A なりたるに顧 見地より其の條約上有する の健全なる發達を援助する の性全なる發達を援助する

が蒙古人中の英傑で

癸園先生の口授を手槍推移に鑑みる所ありな今田買劍先生夙に世茂

の原鉄其道

五五二四(3)雷

直

創業明治四十年就京唯一

電

潍の生」本

酒のだし

出質本位

つてゐることは世人周知夫雄であつて、その輝か失雄であつて、その輝かはかりでなく、亞細亞人

明年建造

米國主力艦二

備砲は十四吋か

十六叶

れた。それには明白に、現在國外交部大臣の麓明が發表之國外交部大臣の麓明が發表之

選著が今回嗣子今田少佐によって上木されたため王道學會 では特に乞ひ此の稀代の遺署 を永傳すべく佐藤贈廣氏その 譯註を施せる講本を印刷し入 回に頁り全部を講了すべく來 る七月十二日第二日曜より記 念公會堂において一般的に夏

、第一回拂込額 四分の一き増資新株二つを割富てるき増資新株二つを割富てる

岸和田紡 【大阪國 開き當期利益金處分案年一割 五分据置を附議する事となつ た

で係織る化く犂時か

王道學會夏期講習

靖獻遺言八

新京記念公會堂に於て七月十二日第二日曜より

【東京國通】浦賀ドック會社では豫てより增資計監を建て 世代ので大陸左の要領によつ したので大陸左の要領によっ したので大陸左の要領によっ したので大陸左の要領によっ

民の腹も相常に六萬七千万に六萬七千万

サイダー

IJ

三ッ矢

御報大第御何申

**支那大陸を旅行する者の** 

(=)

東憲法の章

h

Ξ

## 優れた傳統の現代的再生を示す 蒙古青年の意氣

たり さらした傳統の、蒙古青年に 大 對する深い融け入り方を、そ 方向へ向つての再生産をわれ らはこの軍官學校に見たので 明を指導して今日の票積にま で引き上げて来たのには並々 で引き上げて来たのには並々 であつた、それらの若干の逸話のや であつた、そこでは日常の生 た傳統の、

活がまるで違つてゐるのである、その相違をはつきり見定めてその上に立つ蒙古現代の武人たちが育成されつつあるのだ

本は特別市の一住民ですが、 一職業婦人の類氏の御説に質成します。實は深夜巡步の際成します。實は深夜巡步の際成します。實は深夜巡步の際時代でした。 とり深く考へませんでした。 より深く考へませんでした。 ない昨日退所職途驟雨晴らしに 親御さ 思ふと共に、こんな者が有る 以上、親達も心配が有るのだ 以上、親達も心配が有るのだ

斜病柳花·殺一科外 器應該展入·科病門肛

記れて同意すると にるつらきかな。またるつらきかな。ま 真見で自分の考へを 真見で自分の考へを でする事を悟り

(短期)

で十



知ら

せ

東三條橋際 料 常 料 

一、內地杉小角類版頁 žr 八島通り四〇

上舞ふのだから半島へされて先づ本年中 人されて先づ本年中

やう特に注意を乞ふと やう特に注意を乞ふと

えたし、内は 今年は景氣

浦賀ドッ

ク

高は二萬六五 高は二萬六五 高は二萬六五 高は二萬六五 高は二萬六五 高は二萬六五

#### 五月限 五月限 五月限 手形交換高 (三日) 各地商品市況 票一百七枚 1四日。八九四日日 引生 寄糸 ではまり 袋 を終三・三九三寅(政党係) 廣告の御用命は 産婦人科 性病科 五十嵐組



IEI = 著《約》二萬圓 二著 五千六百圓 三著 二千八百圓

按著外出走馬數均分之 二署 一者二萬三千五百圓 七千圓 五千六百團 一著二萬八千圓 四頭以下 七 Ŧ

滿洲帝國馬政局發行

五 一張二國(一聯一國)

0 數所日 八月一日(爾天の際代日延) 1 賽馬每匹一篙

鎖痛・鎮静・新楽・モルタイ・ 植村製薬所

製材品小賣 在庫 豊富 白點原木 和泉町三ノー六 

日本橋通1-(朝1通前)電話(3)5689番

任十理事長、副理事長、副理事長、副理事長、副理事長、

改正農會條令

近く公布を見ん

農業文省工作の一大進捗

間バイラ

ル

温泉

較電池

東部新線の概

運河に沿ひ虎林線の分岐點から 局断に勃利縣に踏入り、島斯同時に勃利縣に踏入り、島斯

比較調査を遂げ、大同二年十 質測に着手し、翌年三月五日 終了を見た、而して全區間を 終了を見た、而して全區間を

なつて一日全後五時半目出度く凱旋した瞬頭には日滿官民会數の出迎あり陰員の下車整般で代表して凱旋軟迎の挨拶を述べ山本部隊長の答辭ありて職は直ちに瓦房店神社に凱佐聯隊の報告を行ひ三ヶ月が

歌

亦生染

F

0)

進展

老松嶺山脈

の難工事を見る

き本餐 産み落した岡住線は、息もつ ・ まで虎 の地路に東溝の雄都牡丹江を ・ ましき 貴郷安駅に入り、菅糸割しり

を 南部 関 住線 が は 終端 たる 三 江 かせず 更 に 北上して 勃利縣 に と で 近 と で 近 き 将 來 に し て 近 き 将 來 に し な 終端 床 れ る も の で あ る 、 而 し て 今 回 本 る も の で あ る 、 而 し て 今 回 本 で あ る 、 而 し て 今 回 本 で あ る 、 而 し て 今 回 本 で あ る 、 で あ る に 教 が な に か せ ず 更 に 北上 し て 勃 利縣 に

る林口に至る一一〇キロの鐵路である、斯くてこの鉄路は 上重要使命を有する幹線で あるが、滿洲國政府は右の見 が建設を減鐵に委託し、鐵道 で表記し、銀道 が建設を減鐵に委託し、鐵道 で表記し、鐵道 で表記し、鐵道 で表記し、鐵道 で表記し、鐵道 で表記し、鐵道

を成理せしむ 第二十二條 設立委員は定数 第二十三條 設立委員は定数 を作成し軍政部大臣の認可 第二十三條 設立委員は定数 を作成し軍政部大臣の認可 を対するときは退滯なく制立総 設立委員は遅滯なく 関立委員は遅滯なく を担ちるときは遅滯なく ででしたるときは遅滯なく を理するときは遅滯なく を理事長に引渡するときは 遭遇これを撃退した 遭遇しなかつたが敷度匪賊に を追討特筆すべき大會戦には 変追討特筆すべき大會戦には 変追討ちなく毎日匪賊

第十九條 株式會社奉天造兵所の母營業年度に配當し得べき金額が總株式の拂込金額に對し年六分の割合に達するときは政府持株以外せざるときは政府持株以外せざるときは政府持株以外があるときは之を政府持株は別人の割合に達することを得ずることを得があるときは、

7

111

電話三二九〇巻

造 生花 花

ひ勢い凄物に國全今 作傑るゐてし行流で ・れては歌行流 新京村田出張所

坂 級 切の保険は信用厚く

Eavox axx exxx exxx exxx xxx xxx

御申込は

高の分のあり、1(御注文は石油罐二罐より) 高の分のられ(御注文は石油罐二罐より)

OOK BYSKIEYOOK BYSKIE YOOK BYSKIE YOOK BYSKIE YOOKEYSK

治

命



女の青春 小 唄 勝 太 郎

れちやいやヨ 太郎くづし 備兵ぶし g

て嫌曲 (五三六六三)

御ときわ

子丁日 あと

走らな染・

A NOON OF THE PARTY OF THE PART S XXX B XXX 製造卸問屋 菓子 切●迅 京城東子縣武奉 んでも揃ふ弊店 速●廉賣第一主義 御仕入なら 配達迅速

化 制品 文房具 角油埠近路

#### 奉天造兵所法 四日附公布さる

麥員長以下任命 **宣教若は本状に依る命令に理事又は監事の行為が法令理事又は監事の行為が法令事政部大臣は株式會社率天** 張談を取消することを得

を命じ株式會社奉天造兵所 第二十一條 政府は設立委員 第二十一條 本法は公布の日よ り之を施行す

委嘱株式會武奉天造兵所設立 女職株式會武奉天造兵所設立 重要なる産業にして斯栗の統制確立を闘る為特殊會社たる 株式會社奉天造兵所を設立せ んとするものにして之れが設 立委員も左の通り決定した 軍政部大臣 于 芝 山 電性株式會社奉天造兵所を設立せ 

京

潘陽警察廳

騎馬隊を編成

警備交通取締の萬全期す

整 従來と變るところがない。

四、五兩日

間の代作種子

安東で擧行

年制が妥當 【奉天閥通】海陽警察廳では 今回新しい試みとして、騎馬 除を編成して、警備、交通整 となり、二日之が編成式を舉 行した、右騎馬隊は最初世名 行した、右騎馬隊は最初世名 一方した、右騎馬隊は最初世名 一方した、右騎馬隊は最初世名 一方した、右騎馬隊は最初世名 一方した、右騎馬隊は最初世名

暦の年度

使用郵便局名勝日附印の 增設

大学 (京城支局) 現行會計年度の 関係上會計年度を一月に始む (京城支局) 現行會計年度の 関係上會計年度を一月に始む (京城支局) 現行會計年度の 関係上會計年度を一月に始む (京城支局) 現行會計年度の (京城支局) 現行會計年度の (京城支局) 現行會計年度の (京城支局) 現行會計年度の (大学 (大学 (大学 )) 現 でも慣重調査の歩を進めつ (大学 ) が 

偏縁は爾來炎天と戦ひ縁員全 「瓦房店支局」 去る五月下旬

生

送 學 則

满洲白

奉タク経管

(安東國迪) 延期中の第十四回滿鮮對抗相撲大會は四、五四兩日に亘り安東中央公園に於て舉行される事となった、滿洲側は安東、鳳凰城、率天 遠陽、鞍山、撫順の各地より 響であるが、全滿を擧げて好

競性でな生はこと、本代人2目と モデ左できたは一、器でに下下 生記・人2後で多数等に被さは話録大に 一人に、地でく賞で興い特にすが

日一月每期學新

近く配布 「京城支局」六月中旬の慈雨 で南鮮一帶は旱魃縣念解消し たとはいへ、中鮮以北の各道 株に山地及高地帶は水稻の移 施中の代作栽培を積極的に襲 たとして昨年の夏より實 施中の代作栽培を積極的に襲 とに方針を掲て、南鮮及内地 とに方針を掲て、南鮮及内地

(ハイラル関連) 秘密蒙古の 聖地として知られ北端唯一の 要地として知られ北端唯一の が大スは七月一日より運轉を 等の設備も完備され居り温泉 等の設備も完備され居り温泉 等の設備も完備され居り温泉 を選撃しながらハルハ河 の清流に釣竿を垂れ或は百花 の高流に釣竿を垂れ或は百花 高居を建立する件を決定した 協議の結果、二萬國の工費を 以て領事分館裏山の一角七千 がに第一期造營として神殿並 がに第一期造營として神殿並 がに第一期造營として神殿並 領事分館裏に 圖們神社

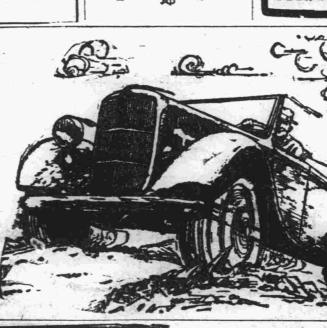
古 店

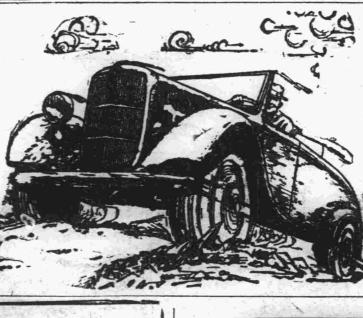
店 古田彌一郎

るまで 梅ヶ枝町四丁目 看二一三七六三春 府和街六〇四



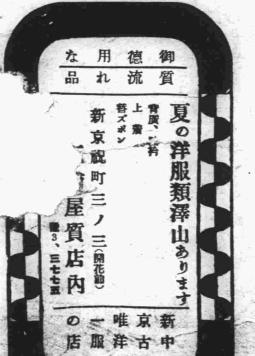












井本運送店支 端店

眼鏡

前場留停スパ電溝通橋本日 店計時堂正大 ● 八五六六(3) 監體

٤

引越 荷物

時計

七時三十分、我々一行百六 行けども (地平線に織く見 族孫人たる太陽は我々の出發を て白雲の下に草を喰んで居た 経水が如く見えた。七時五十 突然「湖だ、湖だ」と叫ぶ際 間が近ぶが如く見えた。七時五十 突然「湖だ、湖だ」と叫ぶ際 間がある。それ でまなが如く見えた。一時五十 次の馬や羊が三々伍々に群れ てまると寛城子の高い無線電信 と伊通川の支流がある。それ てませが見えた。 かりと寛武では 経路の中を西北へ 波上にぼつかりと浮ぶ標に見 原発行車は 経野の中を西北へ 波上にぼつかりと浮ぶ標に見 原発行車は 経野の中を西北へ 次上にぼつかりと浮ぶ標に見 原発

新京中學校北滿旅行

日

(三年)

伊藤博美·記

豊中といふ事である。ここ等 電球は備へてあつたが電気は 未通で今然花江から發電を計 を通じないのででである。ここ等

白く見えた、黄昏頃我々を棄多少含まれてゐるのか殊更にを必合まれてゐるのか殊更に

地味のやせた平原の上に建つせた列車は白城子に到着した

がりかけて一分間ほどし 火から下ろし、し

カメラ 交換歌迎

大和運輸公司

トラック三十五年数合

賣自動車

出ると翼城子の高い無線電信 て新京驛頭を離れた。 郊外を で新京驛頭を離れた。 郊外を

は、米國人である氏獨特の健は、米國人である氏獨特の健は、米國人である氏獨特の健康法ですが、つまり食塊を八十回ばかりかんで、食物を殆んど半流動物として食道に入れる方法です、そして食べてれる方法です。そして食べてある間はほかのことを考へないで、噛むことばかりに考へないで、噛むことばかりに考へなむけ、口でも噛み頭でもかむといふ風にするのです。彼

之

フライバ

し、煙が

鹽、胡

を布巾で拭きとりをふりつけ、メリをふりつけ、メリにバタを少々煮燥にバタを少々煮燥いたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば蓋をしていたらば

火力を弱ならば鰊をな

大番頭小番頭

|朝|

ふ

番

四日(土満日)

五・二〇 コギモの新聞(大連五・二〇 子供の時間(大阪)

家 3五一七五番へ 3五一七五番へ

東一條橋詰東一條橋詰

七.00

P況(東京) 中況(東京) 報(東京)

英國風の鰊料理 (特料) (五人前) 鰊五尾、メリケン粉大匙五杯、鹽、バタ、別に酢味を利かせたトマトケチャップ大匙十杯(借用トマトソース)

SKHHO 福海商事 大和通り六五(金光教筋向)

キリスト教會下中央通九

金

融

地下室問合せ電2一八一二へ 臓間、瓦斯、風呂、溫水煖房 での過半 三壘・女闘 が、四量半 三壘・女闘

新京西公園園藝主任

瓖

國獨立祭記念日米交換放送

場唱 剛

曹敷

笑效

日の大雨の鶯か熟地の連續で 野山を過ぎると丘の起伏はい のまだか遠ざかつて廣漠と した大平野が展開して來た、

で東は構内に大きな給水塔のある驛についた、驛の前に 関れ栗でた塔が泥屋根に関続

をすぎた。こゝを設っ

0.00

八と進む。小合隆附近は

本ろりく 単調な景色にあいて来た皆は、トランプに興じ たり旺盛な食慾を満足させる 以上に食べたりしてゐる、汽

き、二十餘台の馬車を連ねて六分燈火のまたたく漸南に着

脚絆を取る間もなく九時二十休息して直ちに騰南に向つた

は伊通の流を水源としてあるは伊通の流を水源としてあるさらで堂々とした機関庫もあった、扶餘といふ驛につく。ここはこの地方物産集散の中心地で新京ハルビン方面に出す大豆、栗、及び蒙古方面に出す、一番の葉に背後地を縮少せられたが、独商業の一中心地であるしばらく行くと地平線のかなしばらく行くと地平線のかなった。

る、驛前の食堂で晩餐後少し 病院、チチハル領專館分館が 病院、チチハル領專館分館が

痩せる原因?

#### 痩せるも 肥るも

根據で之を榮養學的立場からは常々二千五百カロリーもの食物を必要とするに、その場合は僅か千五百カロリーもので既に滿腹感を覺えるものでで既に滿腹感を覺えるもので

に水九七パー

一番完全な色止法

(の)

> 布を蒸せばと

電(3)四、五二八番

川て、

その理由は

單で効果のある褪色 すで、家庭で出來を 質なされてゐる様で

なる割合に簡 ない ふ研究も今

間合せは 電話る六九二 安く夏ります

方が標準體重に近くなつたのったと云ふのです。榮養學的ったと云ふのです。榮養學的根據で之を榮養學的立場から

等することはさり、知

器具など的

制で撒布結製以外の楊氣では 料車にます。結核の場合は二 計算します。結核の場合は二

親は押入れにかは

で、その下に

のよこ

#### 嚙み方一つで 一眞の榮養もこゝから出る一 眞理は常に平凡!

またこの咀嚼法によれば反對 と痩せて來るのが當然ですのですから、理論的にも自

その肥つたり、優せたりする原因は頗る簡單明四十歳にかけての中年婦人に最も多いやうです。 ヶ月で體重が六貫もへり、目で彼はこれを實行以來僅か四 個職めといつた話にヒントを

傳染病 は の蔓る時

肥る

例にたがはず彼は大兵肥満體 取は廿三貫を越え、身長は五 を神士でしたが保險に加入せ んとして斷られあわてふため いた結果グランドストウンが 子供に 致へて、一口の 子供に なべて、一口の

必要な家庭消毒薬

傳染病が流行する季節です、| 染します、それだけ汚物をい夏はいろ! | の消化器系統の | これらの病氣は口を通じて傳

野 本 がよい、又井戸 水にはその水量の五百分の一 は一升の銀屑を二〇乃至二五 は一升の銀屑を二〇乃至二五 は一升の銀屑を二〇乃至二五 は一升の銀屑を二〇乃至二五

脂などは單にこ 一 ル 石灰すなは 製石灰一〇、製石灰一〇、 の前に色止め馴として酸、明際、色の落ち易いものは洗濯の際、色の落ち易いものは洗濯の

が、咀嚼によつて良となりこれまで消化不良であつた

りたの

であれば石織の作用が鈍つて であれば石織の作用が鈍つて であれば石織の作用が鈍つて

洗ひが不十分な

女子 事務員募集費歷書 大人古物店 電 3次三六〇 本人古物店 電 3次三六〇

色の丈夫さを減じ

ら、若し弱かの残弱の度合い

大八零古流指南名和先生 元・電業 白椒寮 受附 松 原 一般資北民用路東二條五橫灣 一般道北民用路東二條五橫灣 一般道北民用路東二條五橫灣

**謄寫版** 謄寫印刷 · 大、氣、堂

インお江戸日本協会交響管教祭 日本放送交響

正響雄團

(東京)

を は から 他の間に綿 から 他の間に綿 から 他の間に綿 から 他の間に綿 かんで、水分を吸ひ

合は左を追加す ・ は左を追加す は左を追加す

行ふが宜しいでせ

新京\*\*\*\*\* 江へ

は

看板

新兴社

一陽堂療院 建語 3 五八二九番

室町四丁目(三井物産前) あんま 新京永樂町三ノー

人船町一-

**秋本電話**け

お

灸

板 は を開かなアタ 電話簿其儘 が密 電話

電話防倉を入るの人もの電話防倉をしている。

等令 (3) 展九人二 所電(3) 展九人二 所電(3) 展九人二 所電(3) 展九人二 所電(3) 展九人二 所電(3) 展九人二 前 滿鮮也九十十二三期便局 空和至便 整式三九四四 交通至便 整式三九四四 空流至便 整式三九四四 一次通至 中央通二三期便局 窯內 何品も安い店 新京東三條通五四

無順壽司米 を 徳用米到着 一叭七、九五、一斗二

中央通一五裕泰號內 電話專門公益社 體3六九〇八番 ■三七七五(3)電五ノ三明船入京新 社 會式 株 融 金 和 昭

男太を開はず 東三馬路無線電豪下 東三馬路無線電豪下

帳簿專門

電話(3)二三〇十二十六號等の第一部とれ二十六號等の第二十六號等

三省堂製本所

本食へ 本食へ

タイピスト 生. 徒募

殿町二丁目五ノ四級メンス前 神谷教経専修院 瀬谷教経専修院 (並泊宿易簡) 番四六二五(3)。 話意

裁縫教授

住立室間部御教授不

高橋治療院

前會教光金·四五通條一東京新 社 成 萬

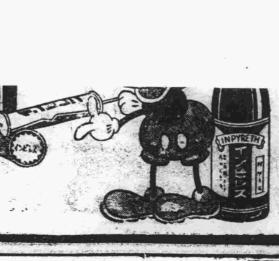
公認土地家屋 清水鍼灸院 **理** 型工备 突破管存

**経を許さざる所であります各地** 品質の適確優秀なるは他品の追 驗による落下率死亡率 其他ピー 有名薬店雑貨店に販賣す 總代理店

汚芳

引 火 點 試 驗人畜無害試驗 ノ程度其他 グラデー氏法殺蟲試 一試 験 試驗





生災備 殺蟲劑

大阪商船株式會社 東天事務所 電二十三系 東天事務所 電二十三系 東天事務所 電二十三系

同種品中の最優秀品であります鑑別法の試験を全部合格した インピレスは左の殺蟲劑の良否

本邦唯一の殺蟲試験

造型教養の再檢討と探究を深 勘壇は、大いなるセザンヌの

土星會第一向展特陳書(公會堂開催中)

土星會々員 白

海

存在をなしてゐる。 を概率したところの後期印

高峯であるピカッにまで至つ現代の世界高増の事實上の最大の世界高増の事實上の最大の信大な酷は後に立體脈に義の偉大な酷は後に立體脈に義の偉大な酷は後に立體脈に

お酒は寒

几

就て

上

大分長くなつたがもう少し生活と文學の一元化について書きたいと思ふ。 葛西や嘉村の はつきり判らない) 或は中野 はつきり判らない) 或は中野 はつきり判らない) 或は中野 しなぜだか僕は芥川や島崎のどこかにひ たんで居るであらうが―文學

械が書き並べ り出した。そ し出し

一等大風の十十 その家の女たちが一齊に、 その家の女たちが一齊に、 その家の女たちが一齊に、 後に一つの鍵を渡して言つた で宿屋に歸つたらおれの枕箱 の中に紙包がある、撫台の書 切がみな中にあるからその紙

と言ったもりを言ったもりを言ったもりでは、と言ったもりでも、 れを見て れを見て 「これがその書類ですか?」 梅子鶏は 一でれにどれだけの物が無き めのだ、これはどうも五科に これはどうも五科に これはどうも五科に こればどうも五科に こればどうも五科に こればどうも五科に こればどうも五科に こればどうも五科に こればどうも五科に こればどうも五科に これが きゅうからあれの所に行こ あた。

、 をのだが、新嫂々の言葉を聴 たのだが、新嫂々の言葉を聴 たのだが、新嫂々の言葉を聴 が起つて來た。魏は言つた。 と、ほくが君の代理で話して は、ほくが君の代理で話して は、ほくが君の代理で話して

「ほんとの事を言ふとれ、ぼったが今度の仕事をやるやうになったのについてはさ、貰ったいんだ、それに上海に着いないんだ、又いろいろ附き合ひをしなくちやならんわけだがあられーそれでだ、五科君においるがあり、五科君になる。

「機械はもつと買ひ足さなぐ ちやならん、まづ今度のが安 いかどうかを見て又買ふのさ

告

御用命は電路

3

11100番~

官場現形記 (93)

魏嗣似はそ

ではほう。一寸やるともう離すのが辛いつてわけかい!」 現やつて、それから何も言は であるともう離りであると彼を であるとであると彼を 魏さんに瀕むんぢやいけない。自分でぜひ行かなくつち

「それは外國から値段を定めて来るんだからね、高い安いはこつちでどうにもならんのだよ」と答へた。さう答へ年、だよ」と答へた。さう答へ年、たよ」と答へた。さう答へ年、のようながらが、上衣を着た。そこへ陶子

これを見ると、品物がさら大したものぢやない、まあ二萬 が所でせらね、さらすると千 人百元ぐらゐしか加算出来ませんれえ。誰からか聞いたんだか、あんたが今度来られた のは數十萬元の機械を買ふ用 あしたちはみんな伸好しですせ、小口の注文を私の方に寄 越して、大口のを他人に廻したりしちゃいけませんが。

段は安くして貰ひたい」

▼募集期間

● 毎月その月のか

(十二时特殊レーベル)

▼頒布開始

ハッパ

こが芥川と葛西の違ふ點では したからだ。それは所詮藝術の道である。 以上の文章は途中からで判 以上の文章は途中からで判 倒れる事はない。倒れ 家は唯一つの救ひを摑 たのである、何故なら たのである、何故なら ない。それは所詮藝術

マハイデルベルグ大學は創立五百五十周年記念釈典に著五百五十周年記念釈典に著生、 法政大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學總長小山松吉東大學線長小山大學は創立

程その偉大な作品と共に普遍今更概論を逃する必要のない一ル…此等の三大畵像の名は 

1

た事である。そして、ピカッ た事である。そして、ピカッ た事がすでにして杯胎しつ たある次の時代の、豫想され た朝戯を興へ、土台となり たな刺戯を興へ、土台となり CEE 文 一唯 日 鹽 須 谷

見し 

通り越して居る。例へば心臓打ち砕いて倒れる』ところは「前略」作者は既に『頭を 面披きは

ーツヶ管 は乗順 マーゼキング ピアノ

使用原盤 全

部未發賣

世様に文學と生活を一元化し 文學の鬼になつて死んだ一人 として小林多喜二を上げたい 後の作品には文學の鬼とし ての氣魄はらかがへなかつた しかし彼は文學の鬼にならう と精進した事はたしかだ。生 らう。
は文學の鬼になつて居たであ
が、彼は少なく
も
はれる時
不幸にして築地署で倒れた 思はず長くなつたが僕は友人のうち文學に精進する人達やるなら、文學の鬼になる氣でやつてほしいと思ふ。と話にあらゆる氣力をなくとの僕は文學を語るも心苦し 活と文學の鬼の気

る音樂常識の密 通じて誰方にな 通じて誰方にな が撰出 社會式株 元青發透鹽 會 商 器 普 書 本 日



隨

眼鏡 時計 前場留停スパ電滿迅橋本日 店計時堂正大

The state of ク風景」 エ、ポール・セザンヌなすべきである。

工

ス ダツ

へを

り、近代繪書の祖父である彼 も、生前は無能者とか落伍者 たとか愚弄され、親友のゾラ からも間前狒ひを喰はされる

様なはカット が彼は生涯、作品のことごと がに絶へざる罵倒と迫害を受 がに絶へざる罵倒と迫害を受 るラ者彼あ 造型的價値の如何によつて決つ思想、精神の如何に均らず、勝れた作品のの何に均らず、勝れた作品のよう。

際に向つてその生涯を賭した を法則への深い追求と開明け を法則への深い追求と開明け 彼セザンヌは此の偉大な一

どうぞ御負品に

要な革新が與へられ、更に でのいはゆる『文藝復與以 をかつてみざる華々しい繪 でのいはゆる『文藝復與以 をかつてみざる華々しい でのいはゆる『文藝復與以 をがつてみざる華々しい でのいはのる『文藝復與以 な信仰心は働き得ずるな信仰心は働き得ずる。 失したのでは無 とれば右記の では知されて つて骨格とな たのである。 個き得ずしてその はべくもその真摯 であたので にその價値ない。 三互匠の作品

とを

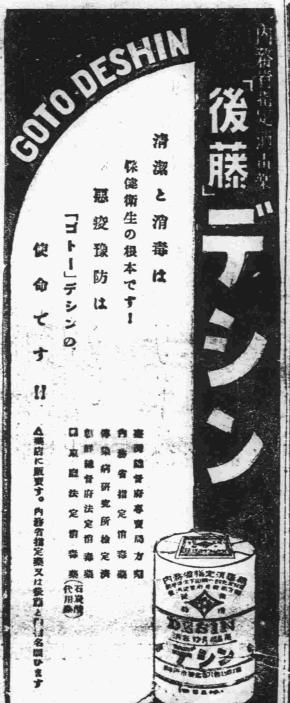
十數名参りまし ッチを放が 「富三八五〇」「無稿選三八五〇

で慢迫り香ノい良の味





日本 よく遊べ 元氣の素となる グリコーグンあり よく學べ ありまとなる 0 站





當 晉 コード 器 を(2)三二六1 (市場前) 領京大解解三六

諸タボ建

イ築 機・イ・械ンラ 1 金 理ク及具 鐵 脈

各帝國大學病

院

指定

常

備藥



LAJACOL-BLUTOSE

DOSE:

3-7 pama ster each male in the each man and to adult in white or male of acceptance with water or male or adult or adult in grass against the each male of acceptance with water or male or adult or adult in grass against the each male of acceptance of the each male of acceptance of the each male of the ea



ールを抱合せるものですに特効ある可溶性グアヤコブルトーゼに古來より結核

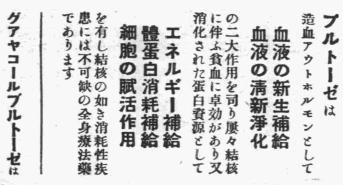
キナブルト

「呼吸器病の養生法」

ヨードブルト

アルゼンブルトーゼ

単味ブ



以上の如く一般の方は結核 るに反し肋膜炎を輕視する。 極力養生せればならぬのである を類似の關係にあるを以て結婚 を顧る重大であり從つて と頗る重大であり從つて と頗る重大であり從つて と頗る重大であり從つて と類る重大であり從つて

結核は毒素の排出に依て全身に影響を蒙ると に動る重大であり從つて全身の代謝機能に多 と頗る重大であり從つて全身の代謝機能に多 されたるエネルギーを補給するにめにグアヤ コールブルトーゼの如き全身療法と局所療法 を兼備した特効薬を服用して血液の循環と新 使代謝を活潑にして貧血を治療し食慾を增進 して體重を増加し全身の抵抗力を强化する) 方結核菌の活動を阻止し氣道粘膜の分泌及炎 症機轉を調整し喀痰を液化して之を滅じ漸次 健康に導くべきである

定は表案を では表案を 理治益弱を 解療を症恐は

然も結核は急性に な養生如何に依ては不治 で養生如何に依ては不治 で養生如何に依ては不治 で養生如何に依ては不治

治療方法 は其病竈が身 は其病竈が身 然不振 麻痩等

金三國三十級 金三國二十級 金三國二十級 金三國二十級 金三國二十級 金三國二十級 金三國二十級 金三國二十級 金三國二十級 金三國二十級

町門小西府城京。町本區橋本日京東。町修道區東市阪:

店商吉友澤雕 社會式材

支那器港フイリクピン海峡植の情勢であるが関際汽船は七月二日突虹横濱を起路として見二日突虹横濱を起路として

で臨んだが七回まで電業宮崎 で臨んだが七回まで電業宮崎 で臨んだが七回明大の攻撃に入 見へたが七回明大の攻撃に入

が、本体七十圓以下は躺立崗 関東州 以下職員の加俸改正を行つた 東寧廿 電業會配では本七月から参事 の廿二

州内は六朝、本俸七十圓一捌を最高に富錦廿一捌

電業會社

職員加俸改正さる

午後一時半より軍人會館に於て新設四分會の第一回創立委

濠洲航路開設

### D 、殺害事件を不起訴とす 人紛糾を招來せん

(北平三日愛國通) 英國兵士 の邦人殺害事件に關し去月廿四日以來昨二日まで行はれた 設入調べの後を受けてクック 設入調べの後を受けてクック 以下三名の被疑者の起訴不起 訴を決定する本三日の英國法 をは午前十時半より開廷され

判決に關い 花輪書記官不滿の意を表明

使館に到りコーアン書記官と | に對し不満の意を表すると共官は本日午前十一時半英國大 | 佐々木殺害事件の不起訴宣言【北平三日發國通』 花輪書記 | 會見し本日の英國法廷に於る 豊臺事件解決す

作に關し急遽來青する及川第 三艦隊司令長官は旗艦出襲に 坐乗して本朝入港、直ちに西 総領事、田尻海軍武官、第十 四驅逐隊菱、栗兩艦長参集重 要協議を行ひ振闢のなしたる 不當措置糾明の爲萬全の策が がある事になった

支那側りが要求全部を承認

Ħ

今朝三笠小學校で

防火避難の演習

▲トラック 百、四百、千五百、五千、高障碍、四百、千五

滿洲國体育週間

砲丸投、

於る端洲國官吏の保健體育の陸上競技大会計費決る

能衡委員會で決定すること、 一時よりの関都ホテルに於る 大時よりの関都ホテルに於る 大時よりの関都ホテルに於る

半休夏季時間を利用して『體向上に備へて七、八月に亘る

なつた、當日の會員券は一般

軟式野球大會の四計畫を實行

巨豪·男女

夏季中室町校等でも實施せん

時半花輪書記官と會見して全 大に對する暴行監禁事件に關 一日に完了したもので、 一方大使館としては、現在日 特來の保護としては、現在日 特來の保護としては、現在日 大に對する外目下研究 中の諸種の方法によるもので、 大に對する場行監禁事件に關 上ても陳覺生氏が本日午前九

る七月十一日より同兵營に零 第三回軍旗祭は部隊出動の爲 歩兵第一團、同騎兵第一團の が兵第一團の

軍旗祭

明大の巨砲火を吐き

電業軍潰え終ゆ

十一A三の懸隔的スコアリ

來る十

七日より晴天三日間

壺前空地で興行

東京大相撲乗込みが近づいた 東京大相撲乗込みが近づいた 東京大相撲乗込みが近づいた 京神社境

滅である

さらである

國婦新設

四分會の

創立委員會終了

教導隊第一團

贈つて喜びを分つ事となつた 問職では率天日滿衛戍病院を 同職では率天日滿衛戍病院を

汉

| 交職競技士

り坂田二進、綾く二瓶石翼・吉田一、二間安打に北澤選安打に北澤選・大澤四球、坂田三遊間選、北澤四球、坂田三遊間

東京 (大連國通) 滿鐵十一年度社 一億三千五百萬圓の残額六千 東京 (大連國通) 滿鐵十一年度社 五百萬圓は臨時に發生すべき 大原が 債は新規發行八千萬圓信替五 五百萬圓は臨時に發生すべき か、内六千萬圓に既に發行濟 五厘の高利率社債即ち昭和三 た、而して五ヶ年計畫に發定 第卅一回三千萬圓、七年十二 た、而して五ヶ年計畫に發定 第卅一回三千萬圓、七年十二 た、而して五ヶ年計畫に發定 第卅一回三千萬圓、七年十二 た、而して五ヶ年計畫に發定 第卅一回三千萬圓、七年十二 十七回社債五千萬圓あり、計畫して居る 日第三十三回二千萬圓の残額六千 海東東

匪襲を受く 寬甸警察隊が急追中 内情況報告に大で意見の開陳 に就き質問あり午後四時閉會 

赤痢患者

へ口を慕ふて脱院

に重苦しいものであらう

下の洋服は作らないとい

近の非常時意識が强い緊張を一般に要求してゐる際相當 であると考へちれる、洋服常用者に荷はされる負擔は最 も衣服の問題は手近かでしかも大きな部分を占めるもの る適切な生活の新しい設計が待望されてゐる、その中で

地方事務所高山社會主事、地方事務所高山社會主事、長、山内電々總裁夫人以下長、山内電々總裁夫人以下長、山内電々總裁夫人以下

年前を終り、午後は各縣族管に各廳關係の指示注意あつて、 に各廳關係の指示注意あつて、

▲日程、十五、十六、十七、 十、十二の五日間午後一時 より、西公園 グラウンド (養定) にて

九才、四十才以上、女子の 九才、四十才以上、女子の 五班に分ち各部局より各競 五班に分ち各部局より各競

各部局對抗大會のスケジュー

A、B兩部に分ち、各部を

治外法權撤廢に際し

首席際務指導官會

覧甸安東間の

物脈な赤銅病患者がへっを裏 京室町一丁目十三番地ノ四下 京室町一丁目十三番地ノ四下 川類夫(三五)は先月二十九

電業打得安徽签三四失 明大打得安徽签三四失 6高山40200010 4 恒川42101011 8梅本4001000 8村上51100001

級明年度社債一

株主總會で承認

6 高山 8 梅本 

=五分五厘社債は借替=

人學生十五錢である てゐるのを同室の附添輪が發見、院内隈なく復がしたが見ま、院内隈なく復がしたが見 そりベットを抜け出で逃走し、こつ とりベットを抜け出で逃走し、こつ しさに耐へ切れず洋服に着 に対來へロインが絶へそので

廿六日午後西公園グラウンド

卅錢、

商早大軍は、新京交驪大會後 五班に分れで新京、哈爾濱 大田より州一日までの四日間 一个後二時より同五時までの四日間 一大日より州一日までの四日間 が、新京は廿 大日より州一日までの四日間 が、新京は廿 大日より州一日までの四日間 房、へロ吸飲所を捜査したが の で逃げたらしく国出でにより 新京署、領警署では三日率 見されなかつた

体育講習會

五十嵐ピル けふ地鎭祭

日〈土曜日〉午後大

時(時間順行)

會

市内八島通り五十嵐組主五十 風ビルを建設することになり は小な雄線を執行するが同ビ けふ地鎮祭を執行するが同ビ 十三萬三千圓、外面總タイル 大三萬三千圓、外面總タイル 大三萬三千圓、外面線タイル 大三萬三千圓、外面線タイル 大三萬三千圓、外面線タイル 大三萬三千圓、外面線タイル もならず大いに困つてゐる いなても同じ屋根の下の衛生 なっても同じ屋根の下の衛生 をでやつたことだけに喧嘩に はいる。 てゐる、原因について探りを 日人の山、潭月池の貨ボー 他に流れ込むのでポ

石田武亥氏再選 天商議會頭

八相撲來る

滅、百五十圓以上は更に一割以上百四十九圓迄は右の一割 開催、正副會頭、會計委員等
て改選後第一回の議員總會を
で改選後第一回の議員總會を ▲祝町二丁目五番地神谷齡之 國防献金二つ

同は申合せて一日のお小使鏡助氏方裁縫専修院内練習生一

五圓を三日國防献金に新京署

式の運びとなるまでには此の で新設分會に關し種々懇談する講演、次 をころあつた尚新分會結成 をころあつた尚新分會結成 種會合が數回開かれるもの 新京社員會聯合會 青年部長、次長 決る 役員會

を青年部長に大長に上野與一年部を設けることにつき種々年部を設けることにつき種々 評議員會の決議により決定を 遺出張所會議室で開催過較大 遺出張所會議室で開催過較大 適出張所會議室で開催過較大 調で開催される青年部總會に 性介諸氏を決定閉會したが稻 柱介諸氏を決定閉會したが稻 は四日午後三時から大 のまた。 高業學校中島

出席のため三日午後出發した 潭月池の惡臭 閑散

ボート係は大あくびをしてゐらボート乗りが次第に滅つて 唯一の銷夏地帶西公園内は毎水に親しみの薄い園都人士の も需用に應じ切れぬ忙しさを **ド捨てたのが腐敗して鼻もち下手に昨年衛生隊が塵芥を投入れてみると白薬町プールの** 

番外賞會開 御外 労賞 製費時 の B 三一金七 大日本麻雀 金 連勝賞、役滿貫賞 賞、平 り拾五等迄で(二申一賞) (食事附き)

街



產科婦人科增設 在前的科女 医松井 號子

新文/イヤ何老長町一大朝日瀬 小児 料院長 肥後 弘子

随入時党 會葬御禮 親戚 一同

賃 五十五圓、六十

前のやり方を断乎として改新し、高級三ッ揃四十 本人のすべてが満洲國在住の諸民族と同様な生活條件に であるが、今や治外法権の一部撤廢が断行され、在滿日 新京日本橋通大上祥行注文洋服部ではかねてより百圓以 そこには苦心の経営が存するのであるが顧客各位にとつ 這入り込むことになつたこの記念すべき機會に於いて從 際も一切それ以下に値下げをすることなくやつて來たの ては大きなサアウイスたり得るものと信ずる ものから提供することとなった百個から、四十八個へ、 のであるそして一昨々年輸洲國に於いて滅俸が行はれた 支配人柏木駒 留 虎 として來たも **次治郎** 国丁二町祝

往文部主任

石

●髪かば焼ト丼● 唸を生じて大評判 食道樂 三笠町二丁山

||味養で立つ||

大經路廉賣市場前 電話(三)二〇八六番

產

満洲生活の合理化が當面の緊要事とされこの大陸に於け

各位に告ぐ

派出婦にも應じます宅診、往診、隨時 片山助產婦

育後には、何かしら、他に転する しく職べてみたのだ。この事件の

いたのだ。そいつこそ、今後の事でしたのだ。そいつこそ、今後の事でしたのだ。そいつこそ、今後の事に成長

出題して、曖昧離々子の背景を詳

成水彩版事が以を開いた。

計 るるのだ。さうだ、降々子の子供いるるのだ。さうだ、降々子は死んでも、その別ひし、降々子は死んでも、その別ひ

しばらくしてから、やつとこの

そのそれは強い過去の人間に悪ひか思はれない。――とすると、かか思はれない。――とすると、か

横からいいた。

「翻子だよっあの女奇術師の翻

かと思ひ出したのは、あの声々子

れ、魔を話しめるための手数とし、『端』

「そして、その子供といふのは

称除血液循環と瘀血療法

ヴェ

已含有

中に

古醫學から新殺見(四六判五十頁)

思海州場が息をはずませながら

性の最本人なんだ。」

その自動車の中には、不思惑な た関持ちで乗つてゐた。.

和事といま一人あの不思いな化時 道化師器のヘンリー熱痛と、降 道化師器のヘンリー熱痛と、降

**今階つて来て、この他に歌うし** 

ー三十年前にをかしたその館が

酒・煙草の毒や病毒から血液が粘ると

動脈硬化を起し血壓が高くなり

本たらにあの数の直線を続つてゐたしてゐた。その結果、あの可意情をなびを人性のどん底にまで、突きなびを人性のどん底にまで、突き 観ける。 確に他が思かったー く物思はしげだつた。他の三人は 一寸間をおいてる実験事はまた しかし、あの雷時、低はほん

つてある頃、一葉の自助車が赤坂 郷太郎と橋代の二人が、野司ケ 郷太郎と橋代の二人が、野司ケ

から結ずケ谷へ向いて、疾動のや

に建つてゐた。

のほせ、耳鳴、肩凝や ふる血chitemoをサッパリ、血行を調へれば 動悸、息切れが嵩します

フルチ錠創製者 (前東京讀言原病院)

安眠も出來、眞から丈夫に

南京

虫退治

御川

命

位切

安

型話取表:□-□·○□·七書 大經路第 三市場 二十號

「関盗四、彼心症の急死を指くのでありますが、こんなゾットする惨害をもたらすのは大抵 即」となり前記の修善を惹起します。では斯うした病氣の原因ともなる「ふる血」はどう 多いのであります。御婦人方ですと月經の殘血や産役の穢血が體毒に絡んでやはり「ふる と絡み合つて懸賞した潜在体に合作素、即ち古方を見でいふ「ふる血」に根です場合が大き 野郷性の観頭観音ではなくて、治つた筈の極遠が何年かの後、酒かばこの春や肉食者など 梅毒の思ろしさは、一度背質ひ込むと骨は腐り鼻が落ちてフガ

動脈硬化とは? したちサッパリするか。 権権文は中風、腦冷問に整体がある。自動などの伝統から腦 れる結果となるのです。 吉原病院

と一般の人はすぐ考へますが、私と一般の人はすぐ考へますが、私とのないで触れそうになる……」の情景かも知れな。等なる……」のがはないではれてものだった。 は血液が粘つて循環がスラー り云はせると、 

近頃人々が心をに非常な社意を 高血壓の危險

土刀

車の酸には何故かしら、沈稲な色、はた酸――。それはまざれもなく

あなかつた。その**似**酸の下から現

「それでは」ふいに譲治がくる

死神はもうあの思い段略をして一復きをしようとしてゐるのだ。」

間に、見違へるほども年取つたやならず、その額は、この十数日の

仰言るのですか?」

続人が、今度の事件の張な人だと

節りを留てゐるやうに棘々しく りと父の力を被返った。その解は

版にもとづくものである事を知る 大は至つて少いようです。 い人の邮管は例外かく硬はつて厚い い人の邮管は例外かく硬はつて厚い で用なように邮壁の高 で用なように邮壁の高

に思はれるのだった。

とうの音に死んでしまつたさうだ

**肩凝り、** 

手足の痺れ

立暗み、頭重、耳鳴、或ひは動。

「ふる血」おろしに

トテモ好評

1や、降が子は死んでる。

もつ「ふる血」が少しづく附着して配栓となり、其の部分を妨げ其

中に書いてある御社意事項と自分

がなく、強く刻まれてゐた。のみ

幸甚の至りと存じます。

原因が「ふる肌」による肌行の不な事は良く側存知のくせに其の 頭重、耳鳴、肩凝りに惱んだ 高血壓が今では

して四液学化から耐管に張力を集 にあらず)を股用されると直接回 にその治病の一耽として本書の毎にして快感に導くか、悩める方々 の症状を自然と快感に導きます。 心研究の勝物たる新順的群へ下型 黑便 る ٤







古

最善口座東京 六五三〇八二武府京橋(50)二五八四番・二六三八

ろしくなり早速ブルチ錠を送つて一で非常に嬉しく(後略)ますので、矢張り塩の気かと大恐。出來、問壁は常慶返下つて居るのなで、矢張り塩の気かと大恐。出來、問壁は常慶返下つて居るの ▽配館が薄く吹出に苦しみ眠れぬ人(梅毒、神經衰壊)、▽動悸、鳥切れして、腰汗、流汗に悩む心臓剥き人▽頭衝、耳鳴、肩続手足の痺れる人(中風、神經第) 無代進星 公共で思 を御野告申上げますと、服み始めて五、六門の間は只便の色が黒くて五、六門の間は只便の色が黒くから水策に躍も軽くなり手のよる。 やままり耳鳴りや眼鏡りも大変 親銀 0寧 01 t刀

景品

付



血液循環療法 品製新

葛

度いたような次第です。

其の經過









(情ヤイ・「コ」丁一町柴永京新 番三一五(8)五豐

